

脈内の脂肪負荷時血中 lipoprotein lipase の上昇が低いため、脂肪の処理能力は低下していると考えられる。一般的には糖質・アミノ酸・脂肪乳剤の1日あたりの投与量は若年者の80%、100%、80%前後とするのが妥当である。概ね糖質3-5g/kg/day、アミノ酸1~1.5g/kg/day、脂肪は0.5-0.8g/kg/dayとする。必要な投与エネルギー量として基礎エネルギー量はHarris-Benedictの式、または25kcal/kg/day程度として、高齢者では1,000~1,100kcal/day程度しか消費しないという報告もあり、過剰投与に気をつける必要がある。またビタミン製剤や微量元素製剤の投与も必須である。

④ 術後晩期栄養管理

手術前状態が良好であり、手術自体、また術後も合併症なく乗り越え退院に至った高齢者において、最も重要な栄養管理は退院後であると我々は考えている。高齢者は貧困や配偶者との離別、また社会的孤独など食欲を低下させる因子を併せ持っている可能性が高い。それに加えて病気に罹患した事実と手術を受けたことが精神的な負担となり、活動性や食欲をいっそう低下させるものと考えられる。この栄養摂取量低下が栄養障害に連鎖、それがサルコペニアにつながり筋肉量の減少により基礎代謝が低下し、悪循環な「Frailty(虚弱)cycle」へつながる(図4)。この術後Frailty(虚弱)に対して外来において主治医、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士や運動療法士、ソーシ

ヤルワーカーなどの多職種連携による高齢患者個人に準じた術後総合機能評価を行っていくことが理想であると考えられる。我々肝臓外科グループでは月1回meetingを行い、術後1年までの栄養指導、また運動療法を含めた包括的リハビリテーションによる介入を行い(図5)、高齢者を含めた肝癌術後患者において、1)手術後の体力維持ができ、日常生活への早期回復が可能であった、2)慢性肝炎や肝硬変にともなった耐糖能障害であるインスリン抵抗性が手術後3、6か月の時点において運動および食事療法により有意に改善した、とする結果が得られた。

(倫理面への配慮)

本研究は関西医科大学倫理審査委員会の承認を得て行った。本研究への協力は個人の自由意思によるものとし、本研究に同意した後でも随時撤回可能であり、不参加・撤回による不利益は生じないことを文書にて説明した。また、得られた結果は統計学的な処理に使用されるもので、個人のプライバシーは厳重に守られる旨を文書にて説明した。本研究への参加に同意が得られた場合は、同意書に参加者本人からの署名を得た。また同意能力がないと判断される場合は、患者から口頭での同意と代諾者からの文書による同意を得た。

E. 結論

高齢者癌手術に対して、高齢者の特性

を十分に理解したうえで、多職種連携による高齢患者個人に準じた術後総合機能評価を行うことにより、長期的な栄養管理と運動を含めたりハビリテーションを行っていくことが重要であると考えられた。

G. 研究発表

論文発表

1. Oishi M, Kiyono T, Sato K, Tokuhara K, Tanaka Y, Miki H, Nakatake R, **Kaibori M**, Nishizawa M, Okumura T, Kon M. pyroGlu-Leu inhibits the induction of inducible nitric oxide synthase in interleukin-1 β -stimulated primary cultured rat hepatocytes. Nitric Oxide. 2014 Dec 12. pii: S1089-8603(14)00512-6.
2. **Kaibori M**, Kubo S, Nagano H, Hayashi M, Nakai T, Ishizaki M, Matsui K, Uenishi T, Takemura S, Wada H, Marubashi S, Komeda K, Hirokawa F, Nakata Y, Uchiyama K, Kwon M. Higher complication rate in hepatocellular carcinoma patients undergoing prophylactic cholecystectomy with curative hepatic resection. Hepatogastroenterology 2014; 61: 2028-2034.
3. **Kaibori M**, Kariya S, Matsui K, Ishizaki M, Ikeda H, Nakahashi Y, Hirohara J, Ha-Kawa SK, Tanigawa N, Sawada S, Okazaki K, Kwon AH. Detection of portal vein stenosis by technetium-99m-diethylenetriamin epentaacetic acid-galactosyl human serum albumin liver scintigraphy after living-donor liver transplantation. Hepatogastroenterology 2014; 61: 00-00 doi 10,5754/hge13143.
4. Hirokawa F, Kubo S, Nagano H, Nakai T, **Kaibori M**, Hayashi M, Takemura S, Wada H, Nakata Y, Matsui K, Ishizaki M, Uchiyama K. Do patients with small solitary hepatocellular carcinomas without macroscopically vascular invasion require anatomic resection? Propensity score analysis. Surgery. 2015 Jan;157(1):27-36.
5. **Kaibori M**, Shikata N, Sakaguchi T, Ishizaki M, Matsui K, Iida H, Tanaka Y, Miki H, Nakatake R, Okumura T, Tokuhara K, Inoue K, Wada J, Oda M, Nishizawa M, Kon M. Influence of Rictor and Raptor Expression of mTOR Signaling on Long-Term Outcomes of Patients with Hepatocellular Carcinoma. Dig Dis Sci. 2014 Nov 5. [Epub ahead of print] .

6. Tanaka Y, **Kaibori M**, Miki H, Nakatake R, Tokuhara K, Nishizawa M, Okumura T, Kwon AH. Alpha-lipoic acid exerts a liver-protective effect in acute liver injury rats. *J Surg Res.* 2014 Sep 4. pii: S0022-4804(14)00814-2. doi: 10.1016/j.jss.2014.08.057.
7. **Kaibori M**, Shimizu J, Hayashi M, Nakai T, Ishizaki M, Matsui K, Kim YK, Hirokawa F, Nakata Y, Noda T⁶ Dono K, Nozawa A, Kwon M, Uchiyama K, Kubo S. Late-onset bile leakage after hepatic resection. *Surgery.* 2014 Sep 24. pii: S0039-6060(14)00313-4. doi: 10.1016/j.surg.2014.05.026.
8. Matsui Y, Satoi S, **Kaibori M**, Toyokawa H, Yanagimoto H, Matsui K, Ishizaki M, Kwon AH. Antibiotic prophylaxis in laparoscopic cholecystectomy: a randomized controlled trial. *PLoS One.* 2014 Sep 5;9(9):e106702. doi: 10.1371/journal.pone.0106702. eCollection 2014.
9. Tanaka Y, Ohashi S, Ohtsuki A, Kiyono T, Park EY, Nakamura Y, Sato K, Oishi M, Miki H, Tokuhara K, Matsui K, **Kaibori M**, Nishizawa M, Okumura T, Kwon AH. Adenosine, a hepato-protective component in active hexose correlated compound: Its identification and iNOS suppression mechanism. *Nitric Oxide.* 2014 Aug 31;40:75-86.
10. Komeda K, Hayashi M, Kubo S, Nagano H, Nakai T, **Kaibori M**, Wada H, Takemura S, Kinoshita M, Koga C, Matsumoto M, Sakaguchi T, Inoue Y, Hirokawa F, Kwon AH, Uchiyama K. High Survival in Patients Operated for Small Isolated Liver Metastases from Gastric Cancer: A Multi-institutional Study. *World J Surg.* 2014 Oct;38(10):2692-7.
11. Oishi M, Tokuhara K, Miki H, Tanaka Y, Yamaki S, **Kaibori M**, Yoshizawa K, Yuri T, Yoshigai E, Nishizawa M, Okumura T, Kwon AH. Temporal and spatial dependence of inflammatory biomarkers and suppression by fluvastatin in dextran sodium sulfate-induced rat colitis model. *Dig Dis Sci.* 2014 Sep;59(9):2126-35.
12. Uenishi T, Nagano H, Marubashi S, Hayashi M, Hirokawa F, **Kaibori M**, Matsui K, Kubo S. The long-term outcomes after curative resection for mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma associated with hepatitis C viral infection: a multicenter analysis by Osaka Hepatic Surgery Study Group. *J Surg Oncol.* 2014 Aug;110(2):176-81.

13. Kono Y, Kariya S, Komemushi A, Nakatani M, Yoshida RY, Suzuki S, Ha-Kawa SK, Utsunomiya K, Ueno Y, Satoi S, **Kaibori M**, Kon M, Tanigawa N. Comparison of Tc-99m GSA scintigraphy and CT volumetry for evaluation in portal vein embolization. *Minim Invasive Ther Allied Technol.* 2014 Aug;23(4):241-6.
14. **Kaibori M**, Adachi Y, Shimo T, Ishizaki M, Matsui K, Tanaka Y, Ohishi M, Araki Y, Tokuhara K, Okumura T, Nishizawa M, Kwon AH. Bone Marrow Cells Enhance Liver Regeneration After Massive Hepatectomy in Mice. *Dig Dis Sci.* 2014 Jul;59(7):1484-9.
15. 石崎 守彦, 海堀 昌樹, 松井 康輔, 中竹 利知, 松島 英之, 坂口 達馬, 權 雅憲. 【消化器外科術後合併症の治療】肝細胞癌肝切除後の合併症対策 危険因子に関する検討. *外科.* 76(1): 47-51, 2014.
16. 清水 潤三, 海堀 昌樹, 村上 昌裕, 野田 剛広, 堂野 恵三, 松井 康輔, 權 雅憲, 林 道廣, 廣川 文鋭, 坂田 親治, 竹村 茂一, 中多 靖幸, 中居 卓也, 久保 正二. 肝切除術後胆汁漏と細菌感染に関する多施設共同研究. *日本外科感染症学会雑誌.* 10 (6): 725-728, 2013.
17. 海堀 昌樹, 中村 竜也, 松井 康輔, 石崎 守彦, 坂口 達馬, 松島 英之, 松本 研二, 權 雅憲. 【予防投与抗菌薬】肝障害併存肝細胞癌切除術における術中予防的抗菌薬投与時間の腎機能別検討. *日本外科感染症学会雑誌.* 11(1): 43-50, 2014.
18. 宮田 剛, 石橋 生哉, 海堀 昌樹, 谷口 英喜, 深柄 和彦, 若林 秀隆, 鷺澤 尚宏. 【術後早期回復のための代謝・栄養サポートのエッセンス:基礎から実践まで】術後回復促進のためのエッセンス 日本外科代謝栄養学会 ESSENSE プロジェクト. *日本手術医学会誌.* 35(1): 13-17, 2014.
19. 海堀 昌樹. 肝胆膵外科領域における術後回復促進策実践での問題点. *外科と代謝・栄養.* 48(2): 43-50, 2014. 総説??
20. 海堀 昌樹, 石橋 生哉, 谷口 英喜, 深柄 和彦, 若林 秀隆, 鷺澤 尚宏, 宮田 剛, 日本外科代謝栄養学会周術期管理ワーキンググループ. 日本外科代謝栄養学会評議員在籍施設における周術期管理の現状. *外科と代謝・栄養.* 48(2): 69-80, 2014.
21. 海堀 昌樹. 【各種肝疾患病態における臨床栄養の役割】巻頭言:特集にあたって. *臨床栄養.* 臨床栄養. 125(2): 146-147, 2014.
22. 吉内 佐和子, 松井 康輔, 石崎 守彦, 海堀 昌樹, 木村 穰. 【各種肝疾患病態における臨床栄養の役割】

- 肝癌患者の栄養管理 チーム医療による術前術後フォローアップ. 臨床栄養. 125(2): 176-181, 2014.
23. 石崎 守彦, 海堀 昌樹, 松井康輔, 飯田洋也, 坂口達馬, 松島英之, 中竹利知, 権 雅憲. 【各種肝疾患病態における臨床栄養の役割】 進行肝細胞癌の周術期ならびに術後化学療法施行時における癌免疫栄養療法に関する検討. 臨床栄養. 125(2): 163-168, 2014.
24. 飯田 洋也, 海堀 昌樹, 松井 康輔, 石崎 守彦, 松島 英之, 坂口 達馬, 権 雅憲. 【高齢者に対する癌治療ベストプラクティス】 肝細胞癌 高齢者肝細胞癌切除成績よりみた外科手術治療指針と周術期管理について. 消化器外科. 37(9): 1425-1431, 2014.
25. 海堀 昌樹, 権 雅憲, 福島 亮治, 大村 健二. 【高齢者外科:周術期栄養管理をめぐる諸問題】 高齢者手術の周術期栄養管理における成績評価上の問題点. 外科と代謝・栄養. 48(4): 115-124, 2014.
26. 大北 沙由利, 平川 紗千子, 松井康輔, 石崎 守彦, 福井 淳一, 海堀 昌樹. Pain Vision を用いた術後の疼痛評価. 消化器外科 Nursing. 19(10): 1025-1029, 2014.
27. 海堀 昌樹, 飯田 洋也, 松井 康輔, 石崎 守彦, 松島 英之, 坂口 達馬, 井上健太郎, 権 雅憲. 【高齢者の術後早期回復はどこまで可能か?-現実と課題-】 高齢肝がん患者の術後早期回復のための課題. 静脈経腸栄養 29(6): 47(1323)-55(1331), 2014.
28. 飯田 洋也, 海堀 昌樹, 松井 康輔, 石崎 守彦, 井上健太郎, 権 雅憲. 【消化器外科手術ピットフォールとリカバリーショット】 II. 各論 5. 肝 b) 肝動脈損傷,胆汁漏,胆管損傷への対応. 外科. 76(12): 1420-1426.
29. 海堀昌樹, 水田敏彦, 西口修平. 肝機能障害. 悪液質とサルコペニア (リハビリテーション栄養アプローチ), pp144-152, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014.
30. 海堀昌樹, 谷口英喜. 鎮痛方法と痛みの評価. ESSENSE, p82-99, 春恒社, 東京, 2014.
31. 海堀昌樹. 消化器外科領域におけるドレーンの可否. ESSENSE, pp112-125, 春恒社, 東京, 2014.
32. 海堀昌樹. 1 術前の処置. Q16 術前の輸液は必要?. 術前・術後ケアの「これって正しい?」Q&A 100, pp24-25, 昭林社, 東京, 2014.
33. 海堀昌樹. 9 栄養管理. Q83 消化管の手術ではない場合、翌日まで絶飲食する必要があるの?. 術前・術後ケアの「これって正しい?」Q&A 100, pp147, 昭林社, 東京, 2014.
34. 海堀昌樹. 9 栄養管理. Q94 術後の経口栄養も推奨されているって本当?. 術前・術後ケアの「これって正しい?」

Q&A 100, pp169-170, 昭林社, 東京, 2014.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

特記すべきことなし。

図説明

図 1

A: 年齢別無再発生存率の比較

B: 年齢別累積生存率の比較

図 2 高齢者総合的機能評価 (CGA) 調査票

A

図 3 高齢者総合的機能評価 (CGA) 調査票

B

図 4 Frailty (虚弱) cycle

図 5 当科における高齢者肝細胞癌切除患者に対する多業種連携

表2 超高齢者・高齢者・非高齢者肝切除例の併存疾患

	非高齢者 (<75歳) (n=517)	高齢者 (≥75歳) (n=59)	超高齢者 (≥80歳) (n=24)	P 値
併存疾患	135(26%)	28(47%)	11(46%)	0.0006* 0.0334***
心血管系疾患	51	13	4	0.004*
呼吸器疾患	25	10	4	0.0002* 0.0119***
腎臓疾患	7	4	2	0.003* 0.006***
糖尿病	64	19	8	0.0002* 0.003***

*非高齢者vs.高齢者 **高齢者vs.超高齢者 ***非高齢者vs.超高齢者

表3 超高齢者・高齢者・非高齢者肝切除例の腫瘍因子

	非高齢者 (<75歳) (n=517)	高齢者 (≥75歳) (n=59)	超高齢者 (≥80歳) (n=24)	P 値
最大腫瘍径 (cm)	4.2 ± 3.4	3.4 ± 2.5	6.2 ± 9.1	0.0281** 0.0117***
分化度 (Well/Moderately/Poorly/Neurosis)	78/382/30/21	10/41/5/3	5/17/2/0	有意差なし
腫瘍皮膚浸潤 (+/-)	443/74	44/15	19/5	有意差なし
門脈または静脈浸潤 (+/-)	231/286	26/33	12/12	有意差なし
腫瘍個数 (単発/多発)	380/137	50/9	19/5	有意差なし
背景肝 (normal/fibrosis or hepatitis/cirrhosis)	49/262/208	4/34/21	7/11/6	有意差なし
腫瘍進行度 (ステージ) (I or II / III or IV)	343/174	40/19	16/8	有意差なし

*非高齢者vs.高齢者 **高齢者vs.超高齢者 ***非高齢者vs.超高齢者

表4 超高齢者・高齢者・非高齢者肝切除例の術中所見・術後経過

	非高齢者 (<75歳) (n=517)	高齢者 (≥75歳) (n=59)	超高齢者 (≥80歳) (n=24)	P 値
手術時間 (分)	289 ± 154	276 ± 103	240 ± 103	有意差なし
出血量 (ml)	1884 ± 1221	981 ± 761	906 ± 915	0.0131*
輸血 (単位/全量)	207/310	21/38	10/14	有意差なし
術式 (部分切除/系視切除)	268/142	42/17	15/9	有意差なし
合併症	112 (22%)	10 (17%)	5 (21%)	有意差なし
肝不全	2	1	0	
胆汁漏 または 胆管炎	43	3	0	
術後出血	3	0	0	
肺炎	22	2	1	
胆水	25	2	3	
その他	17	2	1	
術後せん妄	52 (10%)	28 (48%)	18 (75%)	<0.0001* 0.0102** 0.0001***
院内死	18 (3%)	2 (3%)	0 (0%)	有意差なし
術後入院期間 (日)	23 ± 24	19 ± 22	18 ± 11	有意差なし

*非高齢者vs.高齢者 **高齢者vs.超高齢者 ***非高齢者vs.超高齢者

表1 超高齢者・高齢者・非高齢者肝切除例の背景因子

	非高齢者 (<75歳) (n=517)	高齢者 (≥75歳) (n=59)	超高齢者 (≥80歳) (n=24)	P 値
年齢 (歳)	64 ± 8	76 ± 1	84 ± 3	<0.0001
飲酒歴 (アルコール1日50g以上) (+/-)	363/154	38/21	15/9	有意差なし
HBV/HCV/HBV/HCV/ANHC	100/327/5/71	4/42/0/8	5/11/0/8	0.0069*
コリンエステラーゼ (U/l)	136 ± 74	167 ± 78	200 ± 80	0.0022* 0.0001***
AST (U/l)	51 ± 31	50 ± 30	45 ± 25	有意差なし
ALT (U/l)	52 ± 38	48 ± 34	36 ± 29	0.0322***
ALP (U/l)	312 ± 169	303 ± 133	326 ± 195	有意差なし
γ-GTP (U/l)	84 ± 67	78 ± 84	81 ± 91	有意差なし
ChH-P _{app} クラス A/B	474/43	51/8	24/0	有意差なし
ICG15分排泄率 (%)	18.7 ± 10.9	18.8 ± 9.6	14.5 ± 5.4	0.0486**
血小坂数 (10 ³ /μl)	148 ± 73	16.7 ± 7.9	20.4 ± 8.4	0.0022** 0.0167**
総ビリルビン (mg/dl)	0.85 ± 0.33	0.92 ± 0.73	0.87 ± 0.2	0.0633**
アルブミン (g/dl)	3.7 ± 0.4	3.6 ± 0.5	3.6 ± 0.3	有意差なし
肝臓ローザンブス (ng/ml)	6.9 ± 2.7	5.7 ± 1.9	5.7 ± 1.9	有意差なし
ヒアルロン酸	200 ± 225	169 ± 150	169 ± 150	有意差なし
AFP (ng/ml)	3811 ± 24351	587 ± 1392	546 ± 1621	有意差なし
PIVKA-II (mAU/ml)	2807 ± 10628	466 ± 1453	1780 ± 5172	有意差なし

*非高齢者vs.高齢者 **高齢者vs.超高齢者 ***非高齢者vs.超高齢者

表5 超高齢者および高齢者群における他病死例

年齢	性別	再発有無	再発部位	再発後治療	無再発期間(M)	生存期間(M)	死亡原因
88	M	-			4.5	4.5	肺炎
88	M	-			18.5	18.5	肺癌
80	M	+	肝	なし	20.5	26.5	Parkinson病
80	M	+	肝	TACE	21.0	30.0	肺炎
85	F	+	肝	TACE	16.0	97.5	肺炎
75	M	-			47.0	47.0	肺炎
75	F	+	肝	TACE	20.0	67.0	脳内出血
76	M	-			9.5	9.5	肺炎
75	M	+	肝	なし	4.5	9.5	前立腺癌
78	M	+	肝	TACE	8.5	11.0	衰弱
76	M	-			56.0	56.0	原因不明 (自宅死亡)

表6 生存率に寄与する予後規定因子(多変量解析)

	例数	標準誤差	ハザード比	P値
非高齢者(<75歳)				
アルブミン値 <3.7 g/dl	1.121	0.339	3.069	0.0009
術中出血量 ≥900 ml	0.892	0.326	2.439	0.0063
多発症例	1.031	0.325	2.801	0.0015
高齢者(≥75歳)				
飲酒歴	0.441	0.509	9.615	<0.0001
最大腫瘍径 ≥3.0 cm	0.545	0.592	6.250	0.0019
胃・食道静脈瘤	0.451	0.627	9.174	0.0004
超高齢者(≥80歳)				
術後合併症	1.773	0.934	5.9	0.0475

1 飲酒歴: アルコール摂取量1日50gを3年以上
 ex) 350mlビール3缶飲めば46.2g
 アルコール1ml=0.8g、アルコール度数×飲酒量(ml)×0.8=摂取g数

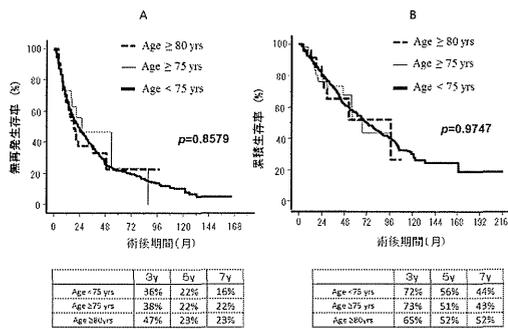


図1

Comprehensive Geriatric Assessment -スクリーニング検査CGA7-

資料1 A 調査票

1. 介護有無 Caregivers
 2. 抑うつ Depression
 3. 睡眠障害 Sleep disorder
 4. 基本的活動動作 Activities of Daily Living
 5. 脆弱性 Vulnerability
 6. 手帳的日常生活活動 Instrumental Activities of Daily Living (IADL)
 7. 栄養状態 Nutrition
 8. 共存症 Comorbidity
 9. 多薬 polypharmacy
 10. 幸福度 (10点満点) Level of well-being
 11. 体調 (10点満点) Physical condition

図2

Comprehensive Geriatric Assessment -スクリーニング検査CGA7-

資料2 B 調査票

1. 意欲 Motivation
 2. 復唱 Repetition
 3. 交通機関利用(IADL) Instrumental Activities of Daily Living
 4. 遅延再生 Delayed recall

図3

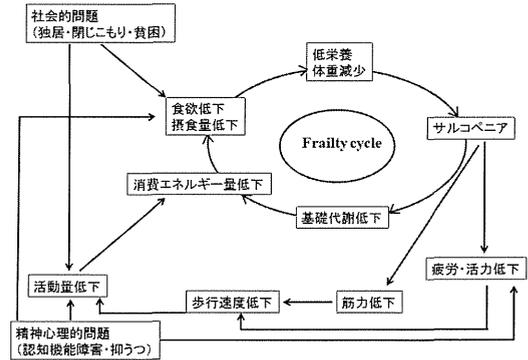


図4

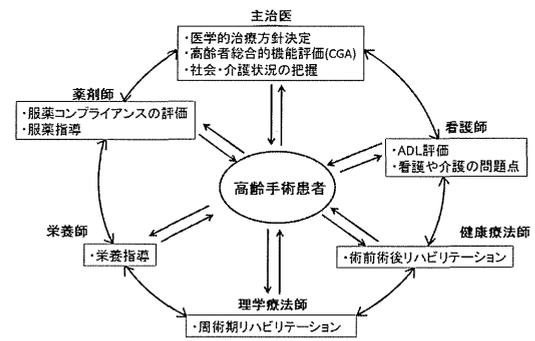


図5

Ⅲ. 学会等発表実績

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究
研究分担者名	長島文夫・春日章良
機関名	杏林大学医学部

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
Geriatric Oncology in Japan	口頭	F.Nagashima	Asian Clinical Oncology Society	May 2-4, Taiwan	国外
高齢者切除不能大腸癌において治療方針決定に用いる高齢者機能評価の実際とその応用について	ポスター	長島文夫、北村浩、宮島謙介、春日章良、成毛大輔、岡野尚弘、古瀬純司、松岡弘芳、正木忠彦、松井敏史、須藤紀子、神崎恒一、奥山徹、明智龍男、安藤昌彦	第81回大腸癌研究会	2014年7月4日,名古屋	国内
JCOG activities in Geriatric Oncology	ポスター	F.Nagashima	the SIOG APAC	2014 Jul 12-13, Singapore	国外
高齢者がんにおける総合的機能評価(JCOG高齢者研究小委員会からの報告)	口頭	長島文夫	第52回日本癌治療学会学術集会	2014年8月28日,横浜	国内
高齢がんリスク評価と意思決定支援の取組み(がん薬物療法の視点)	口頭	長島文夫	第27回日本サイコオンコロジー学会総会	2014年10月4日,東京	国内
杏林大学腫瘍内科における抗悪性腫瘍薬の開発試験登録患者に占める高齢者の特徴	ポスター	長島文夫	第35回日本臨床薬理学会学術総会	2014年12月4日,松山	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Phase 1 study of pazopanib alone or combined with lapatinib in Japanese patients with solid tumors	Inada-Inoue M, Ando Y, Kawada K, Mitsuma A, Sawaki M, Yokoyama T, Sunakawa Y, Ishida H, Araki K, Yamashita K, Mizuno K, <u>Nagashima F</u> , Takekura A, Nagamatsu K, Sasaki Y.	Cancer Chemother Pharmacol	2014 Apr;73(4):673-83	国外
Retrospective analysis of fixed dose rate infusion of gemcitabine and S-1 combination therapy (FGS) as salvage chemotherapy in patients with gemcitabine-refractory advanced pancreatic cancer: inflammation-based prognostic score predicts survival	<u>Kasuga A</u> , Okano N, Naruge D, Kitamura H, Takasu A, <u>Nagashima F</u> , Furuse J	Cancer Chemother Pharmacol	2015 Mar;75(3):457-64	国外
JCOG高齢者研究小委員会の活動と高齢大腸癌を対象とした臨床研究について	長島文夫、濱口哲弥、古瀬純司	癌と化学療法	42(1):16-20, 2015	国内

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(事務局長)
研究分担者名	中村健一
機関名	国立がん研究センター研究支援センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
CGAスクリーニングを用いたNSCLCの第Ⅲ相試験の紹介		水谷友紀、中村健一	第2回JCOG高齢者研究小委員会	2014年6月	国内
JCOG-CGAツールについて		水谷友紀、中村健一	第3回JCOG高齢者研究小委員会	2014年10月	国内
JCOG-GAツールの選定		水谷友紀、中村健一	第4回JCOG高齢者研究小委員会	2014年12月	国内
SIOG/EORTCレポート		中村健一	第4回JCOG高齢者研究小委員会	2014年12月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
該当なし				

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(頭頸部がんグループ)
研究分担者名	西野宏
機関名	自治医科大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
高齢者の頭頸部癌治療の現状報告。	口頭	西野宏、長友孝文、川田和己、金澤文治、高野澤美奈子、中村謙一、今吉正一郎、上村佐恵子、伊藤真人	大阪(第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会)	2015年1月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
該当なし				

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(消化器内視鏡グループ)
研究分担者名	山本頼正
機関名	がん研有明病院 消化器内科

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
80歳以上の超高齢者における早期胃癌ESD非治癒切除後の追加外科切除は必要か？	ポスター	滝沢耕平	第11回日本胃癌学会	2015年3月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
該当なし				

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(泌尿器科腫瘍)
研究分担者名	笥善行
機関名	香川大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
高齢者腎細胞癌に対するスニチニブ使用による有害事象、治療継続期間の検討		濱晋、黄明国、鶴田大、斎藤満、井上高光、土谷順彦、羽瀨友則	第27回日本老年泌尿器科学会	2014年6月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Controversies associated with the evaluation of elderly men with localized prostate cancer when considering radical prostatectomy.	Mitsuzuka K, Arai Y.	Int J Clin Oncol	2014 Oct	国外
Controversies in managing localized prostate cancer: introduction.	Arai Y.	Int J Clin Oncol	2014 Oct	国外
Low-dose maintenance gemcitabine-carboplatin chemotherapy could be an alternative to continuous standard chemotherapy for patients with metastatic urothelial carcinoma.	Mitsuzuka K, Yamashita S, Namiki S, Yamada S, Sato K, Saito H, Kaiho Y, Ito A, Nakagawa H, Arai Y.	Int J Urol.	2014 Nov	国外
Are pathological and oncological outcomes of elderly men treated with radical prostatectomy worse than those of younger men? Matched-pair analysis between patients aged <70 and ≥70 years.	Mitsuzuka K, Koie T, Narita S, Kaiho Y, Yoneyama T, Tsuchiya N, Kakoi N, Kawamura S, Tochigi T, Ohyama C, Habuchi T, Arai Y.	Jpn J Clin Oncol	2014 Jun	国内

Impact of prostate size on urinary quality of life scores after open radical prostatectomy: a single-center experience.	Miyazato M, Kaiho Y, Mitsuzuka K, Yamada S, Namiki S, Saito H, Ito A, Nakagawa H, Ishidoya S, Saito S, Arai Y	Scand J Urol	2014 Apr	国外
Long-term quality of life after radical prostatectomy: 8-year longitudinal study in Japan.	Namiki S, Kaiho Y, Mitsuzuka K, Saito H, Yamada S, Nakagawa H, Ito A, Arai Y.	Int J Urol	2014 Dec	国外
Low percentage of free prostate-specific antigen (PSA) is a strong predictor of later detection of prostate cancer among Japanese men with serum levels of total PSA of 4.0 ng/mL or less.	Sasaki M, Ishidoya S, Ito A, Saito H, Yamada S, Mitsuzuka K, Kaiho Y, Shibuya D, Yamaguchi T, Arai Y.	Urology	2014 Nov	国外
Both radical prostatectomy following treatment with neoadjuvant LHRH agonist and estramustine and radiotherapy following treatment with neoadjuvant hormonal therapy achieved favorable oncological outcome in high-risk prostate cancer: a propensity-score matching analysis.	Koie T, Ohyama C, Yamamoto H, Imai A, Hatakeyama S, Yoneyama T, Hashimoto Y, Yoneyama T, Tobisawa Y, Aoki M, Takai Y.	World J Surg Oncol	2014 Apr	国外
Carboplatin-based combination chemotherapy for elderly patients with advanced bladder cancer.	Yoneyama T, Tobisawa Y, Yoneyama T, Yamamoto H, Imai A, Hatakeyama S, Hashimoto Y, Koie T, Ohyama C.	Int J Clin Oncol	2014 May	国外

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(肺がん内科グループ)
研究分担者名	軒原 浩
機関名	国立がん研究センター中央病院

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
高齢者小細胞肺癌に対する二次治療の実施割合についての検討	ポスター	勝屋友幾、軒原浩、佐藤潤、宮本憲一、住吉ひとみ、吉田和史、久保絵美、朝尾哲彦、北原信介、角南久仁子、堀之内秀仁、神田慎太郎、藤原豊、山本昇、田村友秀	第55回日本肺癌学会総会	2014年11月	国内
高齢者限局型小細胞肺癌に対する治療成績の検討	口頭	角南久仁子、軒原浩、水柿秀紀、北園聡、堀之内秀仁、神田慎太郎、藤原豊、山本昇、田村友秀	第54回日本肺癌学会総会	2013年11月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
該当なし				

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(肺がん外科グループ)
研究分担者名	岡見次郎
機関名	大阪府立成人病センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
呼吸器領域腫瘍に対するin vitro 抗がん剤感受性試験(CD-DST)の有用性	一般示説	東山聖彦、徳永俊照、狩野孝、 <u>岡見次郎</u> 、今村文生、小林昶運	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014年5月	国内
ICGを用いた蛍光カラーイメージング法による肺癌センチネルリンパ節の同定	一般示説	徳永俊照、久能英法、石田大輔、狩野孝、 <u>岡見次郎</u> 、東山聖彦	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014年5月	国内
高齢者早期非小細胞肺癌の外科治療:長期経過からみた肺縮小手術の妥当性について	一般示説	<u>岡見次郎</u> 、久能英法、石田大輔、狩野孝、中桐伴行、 <u>岡見次郎</u> 、東山聖彦	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014年5月	国内
乳癌肺転移に対する肺切除の治療成績	一般示説	久能英法、 <u>岡見次郎</u> 、徳永俊照、中桐伴行、狩野孝、石田大輔、東山聖彦	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014年5月	国内
多発GGO症例に対する初期治療とその後の長期経過観察からの知見	一般示説	石田大輔、 <u>岡見次郎</u> 、徳永俊照、中桐伴行、久能英法、東山聖彦	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014年5月	国内
ADJUVANT CHEMOTHERAPY IN PATIENTS UNDERGOING COMPLETE RESECTION FOR LOCALLY ADVANCED NON-SMALL CELL LUNG CANCER: EFFECT OF IN VITRO CHEMOSENSITIVITY TESTING RESULTS ON PROGNOSIS	プレナリ-口演	Higashiyama M., Tokunaga T, Kanou T, <u>Okami J.</u> , Akazawa Y, Imamura F, Kobayashi H	22nd European Conference on General Thoracic Surgery	2014年6月	国外

食道癌および甲状腺乳頭癌術後の甲状腺癌肺転移に対し右肺下葉切除術胃管合併切除術を施行した一例	一般口演	石田大輔、岡見次郎、徳永俊照、中桐伴行、久能英法、東山聖彦	第57回関西胸部外科学会学術集会	2014年6月	国内
肺癌完全切除後孤立性遠隔転移に対し局所治療単独で長期生存が得られた一例	一般口演	久能英法、岡見次郎、徳永俊照、中桐伴行、狩野孝、石田大輔、東山聖彦	第100回日本肺癌学会関西支部学術集会	2014年7月	国内
肺原発悪性黒色腫の1例	一般口演	徳永俊照、岡見次郎、久能英法、石田大輔、狩野孝、東山聖彦	第100回日本肺癌学会関西支部学術集会	2014年7月	国内
大細胞癌術後の骨および脳単発転移に対する局所療法で長期生存が得られた一例	一般口演	石田大輔、岡見次郎、徳永俊照、中桐伴行、久能英法、東山聖彦	第100回日本肺癌学会関西支部学術集会	2014年7月	国内
肺がん術後オリゴリカレンスとしてのリンパ節再発	一般口演	岡見次郎、久能英法、石田大輔、中桐伴行、狩野孝、小西浩司、手島昭樹、東山聖彦	第100回日本肺癌学会関西支部学術集会	2014年7月	国内
EGFR変異を有する非小細胞肺癌における外科治療の意義についての考察	一般ポスター	岡見次郎、久能英法、石田大輔、狩野孝、中桐伴行、東山聖彦	第55回日本肺癌学会学術集会	2014年11月	国内
左胸腔アプローチで一期的に完全切除し得た両側転移性肺腫瘍の一例	一般口演	石田大輔、岡見次郎、徳永俊照、中桐伴行、久能英法、東山聖彦	第196回近畿外科学会	2014年11月	国内
当施設での高齢者肺癌に対する治療方針決定の実際	一般示説	石田大輔、岡見次郎、徳永俊照、中桐伴行、久能英法、東山聖彦	第55回日本肺癌学会学術集会	2014年11月	国内
当院における肺癌術後転移に対する治療成績～少数個骨転移はオリゴメタスタシスになり得るか～	一般示説	久能英法、岡見次郎、徳永俊照、中桐伴行、石田大輔、東山聖彦	第55回日本肺癌学会学術集会	2014年11月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
A simple risk scoring system for predicting acute exacerbation of interstitial pneumonia after pulmonary resection in lung cancer patients.	Sato T1, Kondo H, Watanabe A, Nakajima J, Niwa H, Horio H, <u>Okami J</u> , Okumura N, Sugio K, Teramukai S, Kishi K, Ebina M, Sugiyama Y, Kondo T, Date H.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	2014 Oct	国外
Trimodality therapy for lung cancer with chest wall invasion: initial results of a phase II study.	Kawaguchi K, Yokoi K, Niwa H, Ohde Y, Mori S, Okumura S, Shiono S, Ito H, Yano M, Shigemitsu K, Hiramatsu Y, <u>Okami J</u> , Saito H.	Ann Thorac Surg.	2014 Oct	国外
Primary papillary carcinoma of the thymus with invasion into subcutaneous tissue through the sternum.	Ibuki Y, <u>Okami J</u> , Tomita Y, Fujiwara A, Kanou T, Tokunaga T, Higashiyama M.	J Cardiothorac Surg.	2014 May	国外
Prognosis associated with surgery for non-small cell lung cancer and synchronous brain metastasis.	Kanou T, <u>Okami J</u> , Tokunaga T, Fujiwara A, Ishida D, Kuno H, Higashiyama M.	Surg Today.	2014 Jul	国外
Bilateral ovarian metastasis of non-small cell lung cancer with ALK rearrangement.	Fujiwara A, Higashiyama M, Kanou T, Tokunaga T, <u>Okami J</u> , Kodama K, Nishino K, Tomita Y, Okamoto I.	Lung Cancer.	2014 Feb	国外
肺がん術経過観察中に発見された孤立性充実性肺悪性病巣に対する外科治療成績の検討	東山聖彦、狩野孝、徳永俊照、 <u>岡見次郎</u> 、井上敦夫、富田裕彦、今村文生	肺癌	2014年7月	国内

学会等発表実績

委託業務題目	高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究(リンパ腫グループ)
研究分担者名	楠本茂
機関名	名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果		発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
発表題目	口頭・ポスター発表等の別				
高齢がん患者における治療に関する意思決定能力障害の頻度と関連因子の検討	ポスター (ベストポスター賞)	菅野康二、奥山徹、飯田真介、小松弘和、石田高司、楠本茂、内田恵、久保田陽介、伊藤嘉規、明智龍男	第26回日本サイコオンコロジー学会総会(大阪)	2013年9月	国内
高齢がん患者における治療に関する意思決定能力障害の頻度と関連因子の検討	ポスター	菅野康二、奥山徹、飯田真介、小松弘和、石田高司、楠本茂、内田恵、久保田陽介、伊藤嘉規、明智龍男	第26回日本総合病院精神医学会総会(京都)	2013年11月	国内
Prevalence and Predictors of Medical Decision-making Incapacity Among Newly Diagnosed Older Cancer Patients: A Cross-Sectional Study	Poster	Sugano K, Okuyama T, Iida S, Komatsu H, Ishida T, Kusumoto S, Uchida M, Nakaguchi T, Kubota Y, Ito Y, Takahashi K, Akechi T	International Psycho-Oncology Society 16th World Congress, Lisbon	2014 Oct	国外
Prevalence and Predictors of Medical Decision-making Incapacity Among Newly Diagnosed Older Cancer Patients: A Cross-Sectional Study		Sugano K, Okuyama T, Iida S, Komatsu H, Ishida T, Kusumoto S, Uchida M, Nakaguchi T, Kubota Y, Ito Y, Takahashi K, Akechi T	4th Asia Pacific Psycho-Oncology Network, Taipei	2014 Nov	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
該当なし				